阿知須町広報

阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　兼定好太郎
編集人　大浜　武明
印刷所
宇部市東区五反田通
宇部新聞印刷所
電話 1725番 1755番

3月10日から16日まで
★緑の週間★
みんな揃って
樹を植えましょう

3月7日は消防記念日
春は山火事のシーズンです
火の上は細心の注意を払いましょう

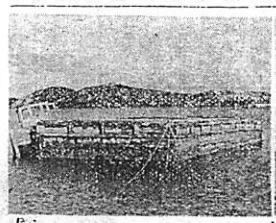
★★一瞬、渦巻く海底へ★★

沈設 白石附近に〝魚のアパート〟

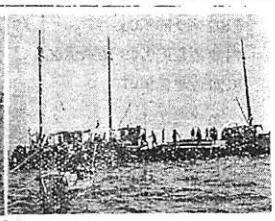
厚狩の漁礁沈設は予定通り二月十二日午前九時から県知事代理志道県水産部長、林同課次長、小貫水産課長、戸内海漁業調整事務局長をはじめ漁業関係者、町議会議員、それにNHK録音班など関係者数十名臨席のもとに作業を開始したこの日実施された場所は白石沖の瀬と美代ケ瀬の中央で巾8メートル長さ20メートル高さ2メートルの帆船（しゅんせつ船体）一隻（ケタ）に、花崗岩二十五坪を投下、午後三時半、二日午前九時半、海底に巨木を沈めた。なお予定さ沈設は小潮のため当日実施出来なかったので同月十八日に設したが、現在まで白石附近四カ所に沈設された魚のアパートの効果は相当挙っており、魚の種類と数量を水揚げ増産高からみると次の通り。

（単位貫）

❶ぼら	四、五八三
❷すずき	一、五六六
❸ちぬ	六三三
❹めばる、あなご、たい、はも、こち、ひらめ、かわはぎ、あじ、ふぐ、なまこ、べら、たこ等	四〇五
合計	七、一八七貫



〝魚のアパート〟となる箱舟と20トンポートの顛槽（この購入費47、000円ナリ）



現地に曳航され、やがて沈設される箱舟（人の沢山乗つている舟がそれ）

沈設準備OK、愈々大きな花崗岩が投げ込まれる

28年度最終、歳入歳出追加更正豫算など

二月の臨時町議会模様

二月臨時町議会は二十六日臨時町議会場に全員出席、午前九時十五分開会。二十八年度最終追加更正予算審議、固定資産評価審査委員会委員選任などにつき審議したが何れも満場一致で可決可決をみた。

まず歳入、歳出の最終追加更正予算では予て起債申請中の消防自動車購入引当金二百万円が不許可となつたため、これを削減したのをはじめ元費節約で各費目の旅費手当、消耗品など事務費の軽減により合計三一二万円を減額し、これと反対に追加分として主なものに警察庁舎建築費三五万八千円、干拓道路（塵芥ばし附近）新設のため購入土地代一一万六千円、三度巻、万年、黒谷各水路工事費四二万四千円、学園教育費一二万四千円、保育所備品一七万円、動力噴霧機購入費四六万円、農薬購入費三八万円など総計一五七万八千円に及んだが、結局歳入、歳出予算四、四一九万七千円で一五四万六千円の減額となつた。

次いで第二議案の固定資産評価審査委員会委員選任については前の臨時会計監査につき西山監査委員伊藤順一氏の死に基く補選によるもので候補者三名のうち、選挙投票により月北区山野新一氏を決定したあと二月十八日、執行部提出の議案は原案通り可決されたが、なお予定通り

思いきって淘汰がコツ

◇……春ビナの育て方……◇

近年本町にも養鶏熱が相当盛んとなり本格的に飼育する農家も年と共に殖えている現状であるが、一年中で絶好のシーズンとされている春ビナの育すう期がやつて来た。ある日記者は暖い陽の当る地方で、やがてやつて来るヒナの受入準備に余念なく、斯の道に入つてもう二十五年もの永い経験を持つ藤村太作さん宅氏の養鶏場に訪ね〝春ビナの育て方〟について種々の取扱上急や上手な育て方のコツなど教わつた。

購入の時期

昔から「ヒナを飼うなら彼岸を買え」という諺もある如く、二月末から三月中旬にかけてのヒナが最良とされているが、このうち特に二月中の寒い時に購入したヒナは寒さに耐えていくため一生丈夫に育つという。

ヒナ到着後の取扱い

まず孵卵は信用ある優秀なものを選ぶことが最も大切なことはいうまでもないが、駅に到着した百羽入りの輸送箱は静かに持ち帰り、予め用意してある薄暗くて荒風の入らない暖かい部屋の中へそのまま箱を運び込み、箱を直ねず、空気孔を全部つぶさないように上からドンゴロス様のもので覆いかける。そうしてこのまま約一時間はヒナが長い旅で疲れた体を充分休めてやる。とくに特に大切なことは輸送箱から直ちに育すう室にヒナを移すことである。

育すう室

急激な温度の変化でヒナを殺し殺すという大失敗が起るので、必ず一時間位はヒナを箱から出さずに疲れをいやしてやるよう注意することが先ず第一のコツである。

安全とされているものに堆肥育すう法があるが、醗酵、踏込みに相当の技術を要する）に移すのであるが、まず育すう室の広さは四・五畳で三五〇羽、六畳で三五〇羽を理想標準とし、数の検収と共に一々ていねいにヒナを調べ、ヒジで歩いたり、元気のないものは、こゝで思いきつて第一回目の淘汰をする。何故なら病ヒナというものは、体の何処かに不調な部分があり、大てい目、口、乳穴の萎縮するハクリ病という恐ろしい伝染力をもつ病気に罹つており、このようなヒナは全部（普通購入中二ないし三パーセント）思いきつた淘汰を施すことが第二のコツである。ほんの一寸した目先の慾で淘汰を遠慮したため八百羽のうち七百までが伝染し全滅させたという苦い例があるので特に注意せねばならない。

恐ろしいハクリ病を完全淘汰

次に一時間以上たつた頃を見計つて九五ないし百度（蒸気）を調節した育すう室（火災等防上、最も安全な方法）に移す。

餌つけ

ヒナは孵化の際、卵殻の一部を腹の中に胎して出て来て、漸次消化吸収するものであるから、孵化後五十時間位は外部から食物を摂る必要はない。だから普通輸送箱の中に「送り状」が貼られ、何時何分までは餌つけの必要なしという指定時間が記されているので、それより遅れても早く与えることは絶対禁物である。食慾のないこの時期に絶餌すると却つて消化器を害することになり、これをうまく実行する事が丈夫に育てるコツである。ここで考えなければならないことは、まずヒナを育すう室に移した直後ヒナに水を与える事であるが、元来知能樹度のもつとも低いとされているこの動物は水を飲むことを知らないので最初二三羽を抱え、口をあてがつて水の飲み方を教えてやれば他の全部はこれを見習うようになる。

餌つけには多く小米など（水に浸したもの）を用い、配合飼料を与えてもよいが、緑餌は欠かしてはならない。とにかく食べ過ぎぬよう注意し、量もだんだん増してゆくようにする。

成鶏は百八十日型が最適

普通一週間もたつては飼育も容易になり死亡率も減つてくるのでその期間だけは管理をもつとも丁重に取扱わねばならない。二週間を過ぎた頃には暖い日は外へ出してやるようにする。そして二五ないし三〇日を経た頃にはトサカが出はじめるが、ここで第二回目の淘汰をしなければならない。即ちメスは鶏冠が薄く、きれ込みは強いがオスはその反対であるので簡単に識別出来る。若しどこか機を逸すると識別は相当難しくなり四・五十日経てばもうわからなくなる。またこのころよくコクシヂウムと称する血便の出る赤痢病にかかりやすいので万一罹患したヒナは早く隔離するか淘汰しなければならない。

なお産卵の適期は生後一八〇日とされているが余り成育をあせり過ぎて四カ月目に産卵させては一生卵は小さく貧もよくないので、あせつてはいけない。

阿知須驛發列車時刻表

（29・3・1現在）

	上り		下り	
小郡	0.09	東京（普急）0.32大阪1.34	西宇部	5.26 門司6.38 万倉6.42 博多（準急）7.23
〃	5.36	宮野6.12 門司6.04 広島6.11 佐世保6.43 博多（準急）6.54	長門本山	6.20
		石見益田7.22 柳ケ浦7.19 大阪7.21 鹿児島（普急）7.29	西宇部	6.42 万倉7.45
〃	6.41	宮野7.54 宮野8.28	〃	7.02 柳ケ浦8.06
〃	7.16	山口8.53 佐世保8.57 東京（1.2等急行）8.49 長崎（普急）9.06	〃	7.43 佐世保9.40 万倉9.45
〃	8.25	石見益田9.31 東京9.29 水俣10.14	小野田	8.24 佐世保9.47
〃	9.00	宮野10.35 東京（普急）10.54	〃	9.20 水俣10.56
〃	9.59	宮野11.25 姫路11.46 門司11.52	〃	9.49 門司12.40
〃	10.53	京都（特急）12.34 神戸12.21	西宇部	10.52
〃	11.46	宮野13.15 岡山13.34 山口13.34	〃	11.38 門司12.32 万倉12.57
〃	12.52	山口14.11 宮野14.45 熊本14.10	小野田	12.51 熊本14.57
〃	13.46	石見益田15.33 糸崎16.18	西宇部	13.36 熊本14.49 万倉15.51
〃	14.48	山口15.49	小野田	14.37 門司16.40
〃	15.12	石見益田16.55 門司16.53 博多（特急）16.37 西条17.14	西宇部	15.37 門司16.53
〃	16.14	山口17.28 佐世保（1.2等急）17.43	〃	16.12 門司17.29 万倉17.34
〃	17.04	宮野18.07 門司18.30	〃	17.02
〃	17.36	石見益田18.41 京都18.41 京都（準急）18.53 鹿児島（普急）18.47	〃	17.58 門司19.18 鹿児島（普急）19.18
〃	18.08	山口19.56 門司19.54 徳山19.45	〃	18.31 万倉19.37
〃	18.42	山口20.44 東京（普急）20.59	小野田	19.06 門司20.38
〃	19.17	山口21.49 光21.43 東京（普急）22.17 門司21.27	西宇部	19.39 門司20.31
〃	19.45	東京（普急）22.47	小野田	20.31 門司22.08
〃	20.12	東京（普急）0.02	西宇部	22.01
〃	22.02		〃	23.03
〃	23.13			

阿知須停留所發バス時刻表

上り小郡及び山口方面 時刻	行先	下り宇部、小野田及び下関方面 時刻	行先
6、50	小郡	6、19	関山
7、20	〃	7、29	関部
7、35	山口	7、40	関部
7、45	〃	7、49	関田
8、15	山口	8、15	小野田
8、39	〃	8、34	関部
8、40	〃	8、45	宇部
9、09	〃	9、07	宇部
9、15	小郡	9、19	宇部
9、35	小郡	9、25	小野田
10、00	小郡	10、07	宇部
10、30	小郡	10、25	宇部
10、45	小郡	10、45	小野田
10、55	小郡	10、49	小野田
11、05	小郡	11、10	小野田
11、39	小郡	11、34	小野田
11、45	小郡	11、35	宇部
12、04	山口	12、19	宇部
12、33	小郡	12、33	宇部
13、00	小郡	13、14	宇部
13、33	小郡	13、44	宇部
13、44	小郡	14、14	宇部
14、33	小郡	14、49	宇部
15、00	小郡	15、13	宇部
15、55	小郡	15、55	宇部
16、00	小郡	16、13	宇部
16、45	小郡	16、44	宇部
17、30	小郡	17、19	宇部
18、00	小郡	18、19	宇部
18、45	小郡	18、44	宇部
19、00	小郡	19、19	宇部

備考　行先欄の△は急行、▼は山陽急行を示す

スポーツ

禁冠いずこ？

第四回町内一周駅伝競走は三月二十八日午前十時町役場前を出発点とし、盛大に挙行されるが、要領は昨年とほぼ同じで全部落の参加と一般の声援がのぞまれる。

△とき　三月二十八日（日曜日）雨天の場合は四月四日

△競技方法　旧（十六）部落対抗（各部落二チーム以内）

△選手資格及びに構成人員　阿知須町住民で左記に該当するもの（一チーム六名）

イ、小学生　一名
ロ、中学生　一名
ハ、高校生　一名
ニ、青年　二名
ホ、三十才以上　一名

△申込み　自治会員宛送付済の申込用紙に記入のうえ三月二十日までに町教委会事務局へ申込みのこと。

伸びゆく郷土

年間十数億円という莫大な金が我々一万町民の懐に入つたり出たりしている勘定になるが、この金を合理的に処理、運営することによつて経済が成り立ち、すべての産業が繁栄し生活が安定する。本町はこの金をうまく取扱い町民の経済を安定してくれる金融機関として山口銀行、南部信用金庫、岡山県漁業信用部、郵便局などあるが、何れも金融業もそれぞれの特徴のもとに年々発展の段階にある。これはとりも直さず町民経済の上昇を物語るものである。

町政クイズ

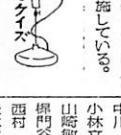
第三回町政クイズの当選者が決定しました。当選者には記念品を差上げますから町役場社会係まで御越し下さい。なおこの回の解答と正解者は次の通り

【今月の解答】

❶三月中に納めなければならない町税は固定資産税第四期分

❷火災を発見したら真ツ先に町役場へ報告する。

❸連載「伸び行く郷土」は第七回目です。



ミスターベビーは？

赤ちゃんコンクール

十八、十九日　阿小校で

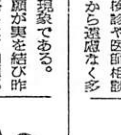
〝赤ちゃんを強く正しく育てましよう〟の啓蒙運動としての赤ちゃんコンクールが三月十八、九両日阿知須小学校で行われます。優秀児の審査だけでなく病気や弱いお子供さんのための検診や医師相談も併せて行いますから遠慮なく多つて共に奮ばしい現象である。また町民多年の念願が実を結び昨年三月集配局に昇格した阿知須郵便局は従来の町内郵便物も三日位かつた不便さも余く解消し、その後事務室、窓口もモダンに改装され、集配をはじめ保険、為替貯金など各種の業務に亘つて生田局長以下全職員がサービスの向上に万全を期し、〝親しめる町民の局〟として面目を施している。

数参加御来場下さい。

△とき　三月十八日（予選）十九日（決選）

△ところ　阿知須小学校体育館

△該当者　昭和二十八年度中に出生のもの



出生の部

父　続柄　出生児　部落
青川和夫　二女　京子　築地
堀田　充　四女　留美子　南祝
田辺麗弘　二男　泰彦　岩西前
中川　渉　二男　新　縄南
小林立雄　長女　美恵子　中村
山崎敏男　長女　由美子　築地
桜門谷憲　長男　彌　野口
西村　剛　長男　敏男　岩辻
来永敏治　長男　勝巳　小東
西村義治　長男　敏之　赤迫
北野　弘　長女　寮美子　且北
上田令次　長男　政明　砂三
篠田末光　長男　実男　引野
重村忠之　長男　清　門松
神永　貢　長女　田鶴子　小西

〔正解者〕

岡田誠一（縄北）岸静子（西条）
西中正男（中村）田中書誠（恵比須）
綱田治子（砂三）岡野康子（学園）
綱田治子（砂三）岡野康子（学園）
岸与四郎（西条）伊藤サツ子（飛石）

大犬百エン

廿九日

不用犬買入

施中ですが、野犬のほかに不用犬は高く買入れますから、必ず印鑑御持参で御行のこと。

△とき　三月二九日前九後四時

△ところ　町役場広場

△買上料金　大犬百円、小犬六〇円、仔犬四〇円

編集後記

へんな時期とは思いましたが、国鉄当局へ問合せましたところ、当分ダイヤの変更計画もない様子なので御家庭の御便宜と本号に列車とバスの時間表を掲載しました。見易いところへ貼つて広く御利用の程を……

▲連載〝伸び行く郷土〟は今回で第八回目を迎えておりますが、それぞれシーズンに迎合したものを順次掲載しているため、観光、芸能、産業などの記列が入り乱れ不合理を生じておりますことを残念に思います。▲悪しからず御了承下さい。▲なおこの資料は本町郷土史上、貴重なものとなりますから、皆様のお気づきの資料がありましたらヒントをお与え下さいますよう願います。（O生）

訂正

二月号町広報の阿知須学園生徒募集要項中、本科生の修業年限二カ年が一カ年に変更されましたので訂正します。

婚姻の部

夫　妻　部落
石田亀治郎　中藤　文子　岩西前
藤田　治　藏谷　挙子　恵比須
福田　弘良　福田　宰子　縄南
藤好　清　田中　喜子　且東
中村　稔　渡辺喜代子　且西
重村　正之　松本　久代　門松
末広　正己　江尻　静枝　宵畑
工藤　昭三　真当　礼子　東

死亡の部

死亡者　年令　死亡月日　部落
前野　元男　一月　2・4　飛石
伊藤　順一五一　2・16　且北
村田　光次六七　2・21　西条
村田　ヤサ八二　2・20　築地
内田　秋蔵七二　2・24　浜表
藤本　フミ六九　2・26　恵比須
西田　敏一五七　2・27　砂二
藤井真理子　一　2・13　小東
竹内　惣市九〇　2・24　砂一